

CONTENTS

地域発NEWS .....	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介 .....	5~6
特集コーナー .....	7
使える！ 行政情報& .....	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人 .....	9
東北森林管理局の管内で .....	10
予定されているイベント情報	



栗駒山の南麓には「世界谷地原生花園」が存在し、  
尾瀬や八幡平と並ぶ大湿原で、初夏に咲き誇るニッコウキスゲは有名です。



## 園児たちがきのこの駒打ちを体験

### 朝日庄内森林生態系保全センター

当センターは、「みどりの保育園推進事業」の一環として、西荒瀬保育園（酒田市）の園児たちと一年を通して、さまざまな森林体験を行っています。

今回はその第一弾として、4月28日に保育園に隣接する新林国有林「しんちゃんの森」（遊々の森）において、年長組の園児18名、先生4名でしいたけ・なめこの駒打ち体験をしました。

作業前に、園児たちに、きのこの働きについて学ぶとともに駒打ち作業について説明を行いました。

実際の作業として園児代表2名がドリルを使ってほだ木に穴開けを体験しました。



園児たちがきのこの駒打ちをしている様子

初めての作業に、最初は戸惑う子もいましたが、先生やセンター職員と一緒に駒を打っていくうちにすぐに慣れて、元気いっぱい次々とほだ木に駒を打ち込んでいきました。園児たちは「意外と簡単だった」と喜んでいました。

今回、駒打ちしたほだ木のきのこが収穫できるのは来年、再来年です。食べることができるのは年中組や年少組の下の年齢の園児たちになります。

西荒瀬保育園では、毎年きのこリレーを行っていて、当センターでもそのお手伝いをしていきます。

## 森林パトロール依頼証明書を交付

### 津軽森林管理署

当署では、林野火災の発生しやすい春先から梅雨に入る前までを林野火災防止対策強化期間としています。

その一環として、国有林野職員のOBで構成されている三陸森の会の支部組織である、ボランティア団体、弘南森の会と西北森の会に森林パトロールを行っていただいています。

この森林パトロールは、東北森林管理局と三陸森の会との間で締結されている「国有林野内の山火事防止啓発活動に関する協定」に基づき毎年行っているもので、今年も、4月25日に山火事防止パトロール依頼証明書の交付式を行いました。

交付式では、当署署長より弘南森の会・西北森の会両会長へ、パトロール依頼証明書と、森林パトロールステッカーや腕章の交付を行いました。



森林パトロール依頼証明書などの交付の様子

当署の管轄は津軽地方南部の広範囲にわたることから、弘南森の会は弘前市、黒石市、平川市、大鰐町、西目屋村に所在する国有林を、西北森の会は鰯ヶ沢町、深浦町に所在する国有林をパトロールし、入山した方へのチラシの配布等を行い、山火事を起こさないよう注意して行動いただくよう呼びかけを行っています。



## 民有林内での治山事業を実施中

### 盛岡森林管理署

当署では、地域住民の安全安心を確保するため、国有林はもとより民有林においても治山事業を実施しております。

平成25年8月9日の集中豪雨（日降水量351mm、最大1時間降水量101mm）で、雫石町内では大規模な山地災害が発生し、住民生活に大きな影響を与えました。

岩手県による現地調査では、同町西部の雫石川の支流志戸前川上流域に位置する民有林内において、大規模な地すべり地（斜面長約800m、幅約480m）が確認されたため、この地域の地滑りによる大規模災害対策の工事が必要となりました。規模が大きく高度な技術を要する工事となることから、岩手県の要望により、当署において実施することとなり、民有林直轄地すべり防止事業として、令和元年度から着手し令和10年度の完成を目指しています。

現在は主に地すべりの原因となる地下水を集め排水する集水井工（集水する井戸）を施工しております。

集水井工（直径3.5m、深さ34m）  
井内の地下水排除の様子(右)



岩手県と雫石町職員との合同現地調査

引き続き、地元関係機関との連絡調整を図り、国土及び住民生活を守るため、対策効果の早期発現に向け、志戸前川地区の地すべり防止事業に一層取り組んでまいります。

## クマ剥ぎ被害を減らしていくために

### 置賜森林管理署

クマ剥ぎというのをご存じでしょうか。クマ剥ぎとは、ツキノワグマが樹液を舐めるために樹木の皮を剥ぐ行為のことを言います。樹木の生長が盛んな5月中旬～9月下旬にかけて被害が多く、樹種としてはスギ、カラマツ、ヒノキ等の針葉樹が主ですが、ホオノキやサワグルミ等の広葉樹も被害にあっています。皮を剥がされた樹木は、徐々に腐朽していき、放置しておくと、最後は枯れて倒れてしまいます。

当署では、クマ剥ぎを防ぐため樹木にテープを巻いて、被害を防いでいます。クマが樹皮を剥がそうとしたときに、邪魔になるテープを嫌がることで予防になります。



防護用テープを巻く様子

また、このテープの巻き付け作業は比較的簡単な作業なため、誰でもすぐにできることから、国有林だけでなく民有林へも普及させていく取組も行っています。

もちろん、今の方法が最善ということではなく、もっと効果的な対策はないか、被害にあいにくい木は何か、被害にあった木をどう利用していくのかなど、まだまだ検討しなければならないことも多く、小国町など地域の方々と協力しながら、クマ剥ぎ被害を減らす取組を進めています。



## 高齢級秋田杉の出材と新たなブランド材への取組

### 米代西部森林管理署

秋田県北部の米代川流域は木材資源に恵まれ、その豊富な資源をもとに木材産業が発展してきました。かつて天然秋田杉を製材していた業者もその供給終了とともに人工の林齢80年生以上の高齢級秋田杉の製材にシフトし、現在もその出材に対する期待は大きいものがあります。

しかし、現在の生産事業は間伐が主体のため、林齢は40～60年生が多く、高齢級秋田杉を市場で販売できるのは生産量のなかでもごくわずかです。そのため、丸太の採材が重要であり、林業事業体と打合せを行いながら対応しています。

令和3年度は、高齢級秋田杉（林齢100年生以上）を617m<sup>3</sup>生産し、委託販売（せり売り）しました。令和4年度は高齢級秋田杉300m<sup>3</sup>の生産を予定し、虫害時期を避けた9月以降に販売することとしています。



秋田県銘木センターのせり売り

今年度から米代川流域の国有林から産出された秋田杉のうち、林齢80年生以上、長さ4m以上、直径30cm以上を新たなブランド材として取り組めます。貴重な資源を有効に活用し、丁寧に採材することで国有林材の高付加価値化を強化しながら、高齢級、国有林高品質材の証である㊦㊦秋田杉の生産・販売に努め、木材業界や地域産業に貢献できるよう対応していきます。

## 持続可能な森林・林業を目指して

### 秋田森林管理署湯沢支署

近年話題の「SDGs」ですが、持続可能な木材生産は100年以上前から林業の目標でした。

近年では、森林の持つ多面的機能に対する期待の高まりや、林業労働者の高齢化などの問題も加わり、国有林が果たすべき役割も多様化しています。

次の写真は、令和3年度の事業で、単層林の一部を伐採し、再び森林を造り（再造林）、複層林（樹齢が違い、高さの異なる樹木で構成される森）へと誘導している過程です。複層林は一度に伐採する面積を小分けにして伐採、再造林していくことで、森林の持つ公益的機能を持続させながら、安定的な木材供給との両立を目指しています。



伐採後に植林し、様々な樹木で構成される森林へ

また、この箇所の再造林には今までの約2倍の大きさの苗木を植栽しました。大きな苗木を植栽することで、下草に負けることなく成長するため、一般的に、植栽後5～6年ほど続く下刈の軽減を目指しています。下刈は、樹木の成長を妨げる雑草や雑木を刈り払いますが、下刈の軽減により、コスト縮減による収益性の改善や、林業労働者の負担軽減になることが期待されています。

当支署では、多様な森林作りを進め、木材供給だけでなく、森林の持つ公益的機能や地域の産業としての林業が持続可能なものとなるよう今後も取り組んでいきます。



## 次世代の林業の担い手を～久慈地域「木の仕事」協議会～

### 三陸北部森林管理署久慈支署

「木の仕事」協議会は平成29年に発足し、久慈地域（久慈市、洋野町、野田村、普代村）の林業・木材加工業、造園業など木に関わる28の企業・団体を中心に構成されており、若者が地域の「木の仕事」に関する業界に就業するための支援や就業後の定着に必要な活動を行っています。

令和3年6月には、久慈東高校の森林生態科目専攻の2年生（18名）を対象に体験型林業・木材講座が開かれ、当支署では、（有）マルヒ製材工場内で広葉樹丸太の検知業務を紹介しつつ、林業に関する知識を深めていただきました。

この体験では、丸太の品質等により計測方法に違いがあること、スマートフォンによる本数・材積等の自動計測に関心を示す生徒が多くいました。



高校生による丸太検知の様子

こうした取組により、令和4年度は、当協議会の企業・団体に3名の新入社員が採用され、このうち令和2年度に体験活動に参加した生徒1名が含まれているなど、地域林業を支える大きな力となっています。

当支署は、今後も「木の仕事」協議会の構成団体等を通じて、次世代の林業・木材産業界を担う人材育成にもつなげていけるよう、支援を継続して行っています。

## 山野草盗掘防止合同パトロールを実施

### 下北森林管理署

4月15日、青森県下北郡佐井村の国道338号線周辺において、佐井村、大間警察署、青森県自然保護課と合同で山野草盗掘防止パトロールを実施しました。

この付近は下北半島国定公園にも指定されており、福寿草などの希少な山野草の群生が見られることから、毎年この時期にパトロールをしています。

佐井村の津軽海峡文化館アルサスで出発式を行った後、2班に分かれて出発し、車載スピーカーで山野草の保護を訴えながら、それぞれのコースを巡回しました。

当日は、数日前までの暖かさとは打って変わってとても寒く、今にも雨が降り出しそうなあいにくの天気となりましたが、早春を求める観光客の姿も見受けられました。パトロールの参加者たちは、観光客にチラシを手渡ししながら、山野草の保護について呼びかけを行いました。

当署では、このような取組を地域とともに継続していくことにより、森林保全に対する意識とマナーがより一層深まっていくものと期待しています。



盗掘防止看板の点検



# 国有林野所在市町村の魅力紹介

## 岩手県和賀郡西和賀町

岩手南部森林管理署

西和賀町は、岩手県の西部、奥羽山脈の山岳地帯に広がる地域で、森林が約9割を占めています。和賀岳生物群集保護林や和賀岳自然環境保全地域、湯田温泉峡県立自然公園などがあり、豊かな自然環境は圧巻!北上川の支流である和賀川が南北に貫き、多くの川や沢に分かれており、豊富な水資源にも恵まれた地域です。



錦秋湖大滝

錦秋湖は湯田ダムによりできた人造湖。その上流部に2002年に建設された幅123m、高さ17.5mの貯砂ダムが「錦秋湖大滝」(正式名称:湯田貯砂ダム)です。水が流れ落ちる様子を滝の内側にある通路から鑑賞できます。巨大な水のカーテンに例えられ、水位が低くなる時期に一般



七色にライトアップ

開放されます。毎年7~10月頃には、滝を七色に彩るナイトイベント「錦秋湖大滝ライトアップ」も開催!

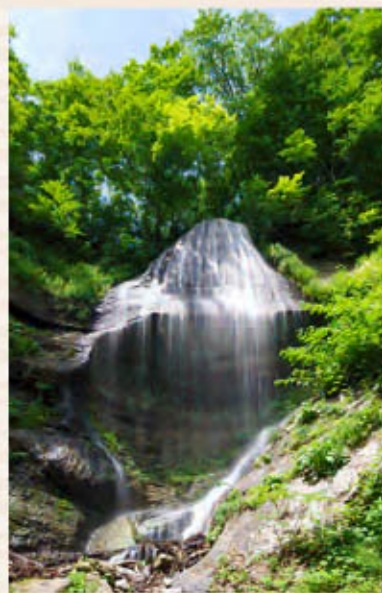
東北初の砂風呂として平成2年に誕生した槻沢温泉「砂ゆっこ」、湯本温泉からほど近く、町内で産出された天然珪砂を温泉で熱し、浴



槻沢温泉「砂ゆっこ」

衣のまますっぽりと入って体を温めるユニークな町営の温泉です。脱衣所で浴衣を着て、キャップをかぶったら準備完了!砂の上に寝転がると温泉で約45℃に温めた天然珪砂をスタッフがやさしくかけてくれます。砂の重みも心地よく、15分後砂から出ると待っているのは経験した事のない最高の爽快感!

西和賀町の女神山(956m)の麓にある「白糸の滝」は、落差30mの糸を引くように降り注ぐ水しぶきと、ブナやアカシデに彩られた背景が鮮やかなコントラストを描き圧倒的な光景!女神山登山口の駐車場から徒歩約20分、登山靴又は長靴が必要です。



白糸の滝

四季折々の豊かな自然に恵まれた焼地台公園やまちだいには、キャンプ場、ジャンボスライダーや県産材を利用した遊具も設置され家族でアウトドアを満喫することができます。また、園内には本格的なコーヒーを提供するカフェもあります。近くには公営の日帰り温泉施設「丑の湯」や「レストハウスゆのさわ」などもあります。



焼地台公園

問い合わせ先: 西和賀町観光協会 Tel.0197-81-1135



# 国有林野所在市町村の魅力紹介

## 青森県十和田市

三八上北森林管理署

十和田市宮宇樽部キャンプ場（青森県十和田市大字奥瀬字宇樽部64林班イ小班）は、奥州山脈の北側、標高約400mの場所に位置する十和田湖の湖畔にあります。十和田八幡平国立公園内にあり、ブナ・ミズナラ・カエデといった落葉広葉樹が広がり、野趣溢れる場内と湖畔から眺める十和田湖の景観が人気です。



野趣溢れる中でキャンプが楽しめる

フリーサイトの他に電源付きのサイトやコテージなどもあることから、ソロキャンパーから小さい子どもがいるファミリーまで、のんびり楽しく思い思いの過ごし方をしています。

また、キャンプ場発着のカナディアンカヌーツアー（Towadako Guidehouse 権（かい） 催行）は、初心者も参加可能で雄大な十和田湖を満喫できます。同じく場内にあるトウヒ材を使った樽型サウナ（十和田サウナ）も人気のアクティビティのひとつとなっています。



湖と森の不思議を体感するネイチャーツアー

周辺には乙女の像や十和田神社がある休屋地区や、奥入瀬渓流など人気の景勝地も近いことから、観光をするための拠点としての利用も可能です。



十和田湖畔の眺めも美しい

長期滞在中に仕事をするスタイルもこれから増えていくと思われ、国立公園内も少しずつワーケーション設備を整えております。キャンプ場でもプリンターやWi-Fiを設置した「北奥“hokuou”コテージ」があります。コテージの窓からは四季折々十和田湖を眺められるので、自然の中に身を置きながら仕事をする事ができます。コテージ内は北欧雑貨やフィンランドで生まれた建築家、アルヴァ・アアルトの家具で揃えられ、癒しの空間となっております。



ワーケーションにも最適な空間

キャンプ、アクティビティ、ワーケーションなど多様な利用の仕方ができる宇樽部キャンプ場に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

問い合わせ先：十和田市宮宇樽部キャンプ場 Tel.0176-75-2477



# 初夏のブナ林と十二湖沼巡り 新緑や花を楽しむ

津軽白神森林生態系保全センター

青森県西津軽郡深浦町の十二湖において、5月28日（土）、深浦町と津軽白神森林生態系保全センターの共催による森林教室を、3年ぶりに新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら開催しました。

当日は、青森県内から児童3名を含む11名が、初夏のブナ林と湖沼巡りに参加し、共催の深浦町から2名のガイドを派遣していただき、十二湖の見所について案内してもらいました。



案内図の前でガイドの説明を聞く参加者

出発前、十二湖内の森の物産館キョロコ駐車場において開会式を行い、高木センター所長より「自然豊かな森林をはじめ、十二湖畔や日本キャニオンなどの景勝地を見ながら、白神山地の生態系を学び森林浴を堪能してください」との挨拶後、準備体操で体をほぐし、ブナ林と湖沼巡りを開始しました。



ブナの巨木に圧倒される参加者

参加者は2組に分かれ、それぞれガイドの案内で、原生林に囲まれた迫力たっぷりの「鶏頭場の池」、コバルトブルーの「青池」、透明度の高い「沸壺の池」や、新緑のブナやカツラ、希少な植物など白神山地の色彩を楽しみながら散策しました。特に、青池は曇り空ながら、とても綺麗な青い色を見せてくれました。



神秘的なコバルトブルーの青池

十二湖リフレッシュ村で昼食後、午後は午前中の広葉樹林とは全く違うヒバ林を散策し、メインである日本キャニオンで迫力ある雄大な岩肌を見学する予定でしたが、突然の雨に見舞われて、急遽日本キャニオンへの予定を変更して散策を終了しました。参加者からは、「午後の予定がキャンセルとなって残念」との声もありましたが、「久々に十二湖の自然を堪能しました」との声もあり、無事、森林教室を終了しました。

あいにくの天候によりコース変更もありましたが、ガイドさんの説明で、十二湖の成り立ちや様々な植物のことができて、参加者の皆さんも例年以上に有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。



白神山地周辺に分布する「ツガルミセバヤ」

解散時には皆さんと笑顔でお別れでき、怪我もなく楽しい時間を過ごすことが出来ました。



使える!

## 行政情報&研究・技術の参考情報

### 自治体職員が参加できる 研修のお知らせ

東北森林管理局では、国有林野事業を適切かつ効率的に管理経営するために必要な知識、技術、技能の取得等を目的とした職員研修を実施しており、この研修に各県及び市町村の林務担当職員の皆様にも参加いただいているところです。

現在、自治体の職員の皆様向けに次の5つの研修を企画しています(局実施分のみ掲載)。



山の地図の見方を学ぶ

- 基礎研修(森林の育成) 7/11~7/14  
造林・育成に関する基礎知識・技術の習得
- ドローン技術研修 9/13~9/15  
ドローンを活用した森林情報収集等の習得
- フォレスター育成研修(総合) 10/25~10/28  
循環的な森林資源利用の知識・技術の習得
- 基礎全般研修(後期) 12/6~12/9  
森林管理に関する基礎的知識・技術の習得
- フォレスター育成研修(基本) 1/11~1/13  
森づくりの考え方などの知識・技術の習得



直径計  
輪尺を使用して木の直径を計測

研修に参加を希望される自治体職員の方は、東北森林管理局総務課(018-836-2173)へお問い合わせ下さい。

### 秋田県立大学・ 木材高度加工研究所の紹介

今年度から秋田県立大学・木材高度加工研究所(以下、木高研)が本コーナーを年3回担当します。第1回は木高研の紹介をします。

木高研は公立大学法人秋田県立大学に附置された研究機関ですが、その前身は1995年に設置された秋田県立農業短期大学附属の木材高度加工研究所に遡ります。その名が示す通り、木高研は代表的な循環的資源である木材を主な研究対象とした全国的に極めて珍しい大学の研究機関です。

木高研は設立以来「地球規模の理想的な木質資源循環系の確立」という理念のもと、「秋田県の木材産業を資源依存型から技術立地型に転換するための基盤の確立」を目的として運営されてきました。この理念と目的は設立当初から基本的に変更ありませんが、木高研を取り巻く情勢は大きく変化してきました。すなわち、製材、集成材、合板、紙といった旧来の利用に加えて、直交集成板(CLT)、セルロースナノファイバー、リグニン等の新たなマテリアル利用や発電・熱供給等のエネルギー利用が推進されています。その結果、現在では森林・林業・木材産業を広くカバーする6領域で研究・教育・地域貢献の活動をし、これらの領域はSDGsとも密接に関連します。

次回以降は、具体的な取組を紹介をします。



木高研の研究分野とSDGsの関係

ご関心のある方は、秋田県立大学・木材高度加工研究所 (Tel.0185-52-6900)へお問い合わせ下さい。



# 地域のこの人

## 木材の魅力に惹かれて

宮城県森林整備事業協同組合  
守屋木材株式会社大衛工場 畠山 耕太さん

当工場は、宮城県のほぼ中央に位置し、広葉樹・針葉樹とも集荷し易い立地にあります。工場の仕事は製紙用チップ、菌床用おが粉、パーク堆肥、丸棒、苗木を生産しています。メインは製紙用チップで、ド

ラムパーカーという機械で剥皮した丸太を、木削チップにして製紙工場に納入しています。



丸太を木削チップにすると紙の原料に

私の祖父や近所の方が林業に携わっていて、小さい時から木材の仕事に就きたいと思い入社いたしました。入社した当時は樹皮と幹の区別がつくまで大変でした。それから樹皮が剥けやすい時期や樹種名などを先輩方に教えてもらい、木材についての関心が深まりました。樹種を覚えてくると、チップ生産時に、現在入荷している現場はナラやクリが多い山林だとか、ヤナギが多い河川敷だとか色々考察出来るようになり、木材の魅力に更に惹かれました。また、使用している重機や機械も時代に合わせて年々進化していき、作業効率が格段に上がり故障も少なくなってきました。

近年、木材の使用の多様化により販路が増え、私も今年『みやぎ森林・林業未来創造カレッジ』の広葉樹ビジネス講座に参加し、広葉樹の循環利用を学びました。これをこれからの若い人材と一緒に広げていきたいと思っています。

## 自然と共に、地域と共に

上小阿仁支署 前田森林事務所  
首席森林官 大川 輝美さん

当事務所は、秋田県北部の北秋田市森吉地区の国有林、面積約1万5千haを管轄しています。

管内の森吉山は、主峰向岳（標高1,454m）を中心とした東西3kmのカルデラを形成する独立峰で、標高1,100m付近からブナ林はアオモリトドマツ（オオシラビソ）の森に変わり、冬はスノーモンスターの樹氷群、初夏から秋にかけては高山植物が咲き誇る「花の百名山」として親しまれています。春の新緑と秋の紅葉シーズンには、登山者や森林レクリエーションを目的とした入山者も多いことから、地域の自治体、山岳会、消防、警察等関係機関と共に山岳事故防止啓発活動を行っています。

その他、森吉山の山開きや清掃登山など地域の行事への協力や、外来植物（オオハンゴンソウ）除去など県立自然公園内の活動団体への協力も行っています。先日は、国有林内に幹まわり約9mという巨木（ミズナラ）があるという地域の方からの情報提供を元に現地確認しました。このような地域のかげがえのない自然を次世代に残すべく見守っていきたくと考えています。

引き続き、地域の方々の情報交換を通じて繋がりを大切にした業務に取り組んでいきたいと考えています。



地域の方々と協力しながらの清掃登山



## 6月中旬

### 森吉山 春夏ゴンドラ営業

6月4日(土)～9月下旬  
花の百名山や樹氷で知られる森吉山の天空の花園へゴンドラで散歩  
(秋田県・森吉山阿仁スキー場)

### 大館バラまつり シーズン1

6月4日(土)～26日(日)  
約500種類の多彩なバラを一度に楽しめます  
(秋田県大館市)

### 早池峰山山開き

6月12日(日)  
ハヤチネウスユキソウなど約200種類の高山植物を楽しめます  
(岩手県宮古市・遠野市・花巻市)

### 三厩小学校植樹体験

6月17日(金)  
植樹体験・丸太切り、紙芝居で森林の働きなどを説明します  
(青森森林管理署)

### 初夏の南蔵王、芝草平から北屏風

6月18日(土)  
ミツバオウレンなどの高山植物を鑑賞しながら歩きます  
(宮城県・蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」)

### 美郷町ラベンダーまつり

6月18日(土)～7月3日(日)  
ラベンダーの摘み取り体験を期間中、毎日開催  
(秋田県仙北郡美郷町)

### ハルゼミ探訪 イヌワシの道登山

6月19日(日)  
にぎやかなセミの声を聞きに岩落山まで(事前申込制)  
(青森県・弘前市みどりの協会)

### 朝日連峰夏山開き

6月19日(日)10時  
烏原山朝日嶽神社で朝日連峰の夏山開きと安全祈願を実施  
(山形県西村山郡朝日町)

## 6月下旬

### 青森ヒバの森&森林鉄道めぐり

6月25日(土)  
津軽森林鉄道遺構をめぐり、青森ヒバの森を散策します  
(青森県・青森市森林博物館)

### 独鈷大日神社例大祭

6月25日(土)26日(日)  
大日神社の例大祭で、その年の米の作柄を占います  
(秋田県大館市)

### 西和賀町山開き

6月26日(日)  
ブナの原生林が多い西和賀の山々を年ごとに順番で山開きを開催  
(岩手県和賀郡西和賀町)

### ふらっとてしごといち

6月26日(日)  
伝統工芸品や手作り雑貨などを展示販売します  
(岩手県久慈市・minarai事務局)

### 第21回御引きさくらんぼまつり

6月26日(日)  
さくらんぼ狩り、プレゼントありのスタンプラリーなど  
(山形県酒田市)

### あじさい観賞

6月下旬～7月下旬  
あじさい園には、70種類3万株ものあじさいの花が咲き乱れます  
(宮城県・チャチャワールドいしこし)

### 花菖蒲まつり

6月下旬～7月下旬  
3000坪の敷地に500種類20万株のハナショウブが咲き誇ります  
(青森県・手づくり村 鯉艸郷)

### 多賀城跡あやめまつり

6月22日(水)～6月24日(金)  
800種300万本のアヤメ、カキツバタ、ハナショウブが咲きます  
(宮城県多賀城市)

## 7月

### 月山山開き

7月1日(金)  
出羽三山の主峰、月山の山開き行事です  
(山形県鶴岡市)

### 烏海山フラワートレッキング

7月1日(金)  
遊佐町烏海山ガイドがご案内する登山ツアーです  
(山形県飽海郡遊佐町)

### 北侍浜野営場オープン

7月1日(金)  
南部アカマツの林に囲まれた海に見えるキャンプ場です  
(岩手県久慈市)

### 網張温泉展望リフト運行開始

7月2日(土)  
岩手山や三ツ石山へのトレッキングなどご利用ください  
(岩手県・休暇村岩手網張温泉)

### 田代岳作占い(田代神社)

7月2日(土)  
田代岳でその年の稲作の豊凶を占います  
(秋田県大館市)

### ホテルと星空ハイキングin蔵王坊平

7月の土・日曜日  
ガイドの案内で幻想的なホテルと星空鑑賞  
(山形県・上市市観光物産協会)

### 五葉山シャクナゲ鑑賞会

7月上旬  
シャクナゲの群落があり、その美しさを満喫することができます  
(岩手県・大船渡市観光物産協会)

### 樹木観察会

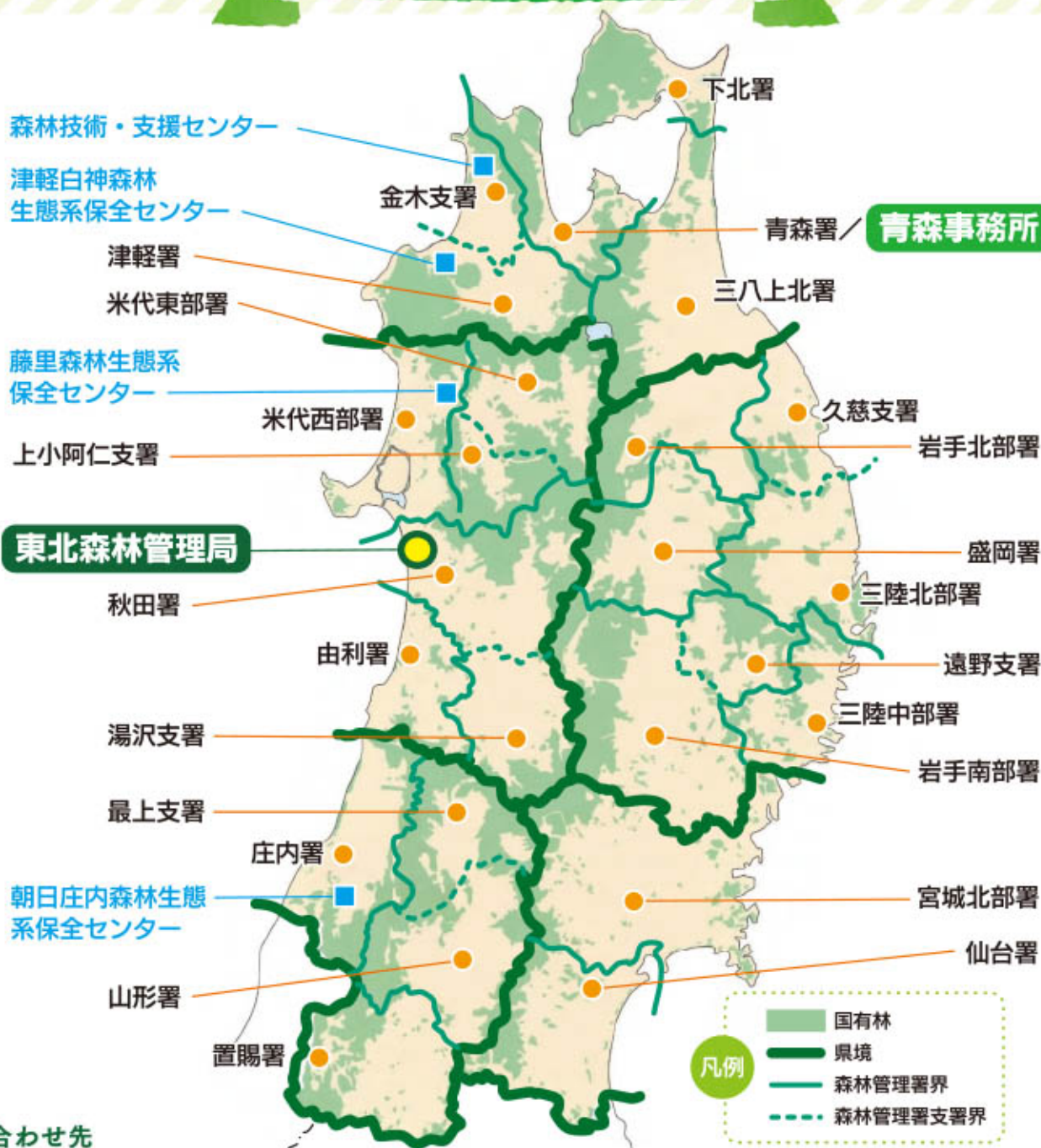
7月9日(土)  
樹木医目線で自然観察、専門家からの森の見方を学びます  
(秋田県・森吉山野生鳥獣センター)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。  
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。



# 東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



## 問い合わせ先

青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800	仙台署	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	米代東部署	大館市上代野字中込3-23	☎0186-50-6130	
青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422	
下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511	
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311	
津軽白神センター	西津軽郡沖野町大字瀬戸町字東阿野野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	
森林技術支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	
岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤里字大間添24-3	☎0185-79-1003	
三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	
久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161	
三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川1200-11	☎0233-62-2122	
盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730	
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670				

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.219

●発行日/令和4年6月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください  
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために製材材を積極的に使用しています。